

令和7年度「児童生徒の携帯電話・スマホ等の使用状況」に関する調査結果概要

調査期間	令和7年10月下旬～12月上旬
調査方法	県教育委員会が作成した無記名アンケート
調査対象	400校（小学校223校、中学校122校、義務教育学校5校、高等学校36校、特別支援学校13校、中等教育学校1校）
回答者数	95,768人（小学校51,570人、中学校24,674人、高等学校18,273人、特別支援学校1,251人）

1 自分用の携帯電話・スマホの所持状況（小・中・高・特別支援の全児童生徒対象）

学年等		ア 持っている		イ 持っていない	
小	1	2,269	(28.6%)	5,662	(71.3%)
	2	3,078	(36.4%)	5,367	(63.6%)
	3	3,883	(45.8%)	4,604	(54.3%)
	4	4,785	(55.3%)	3,869	(44.7%)
	5	5,508	(61.8%)	3,408	(38.2%)
	6	6,329	(69.3%)	2,808	(30.7%)
計		25,852	(50.1%)	25,718	(49.9%)
中	1	6,644	(82.3%)	1,428	(17.7%)
	2	7,230	(87.5%)	1,032	(12.5%)
	3	7,499	(89.9%)	841	(10.1%)
計		21,373	(86.6%)	3,301	(13.4%)
高	1	6,153	(99.0%)	65	(1.0%)
	2	5,956	(99.3%)	39	(0.7%)
	3	5,990	(99.4%)	39	(0.6%)
	4	30	(96.8%)	1	(3.2%)
計		18,129	(99.2%)	144	(0.8%)
特	小	71	(14.9%)	406	(85.1%)
	中	92	(27.3%)	245	(72.7%)
	高	245	(56.1%)	192	(43.9%)
計		408	(32.6%)	843	(67.4%)
合計		65,762	(68.7%)	30,006	(31.3%)

2 フィルタリングの使用状況（小学校1・2年生は調査対象外）

学校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
				小学部	中学部	高等部
している	6,533 (31.9%)	7,775 (36.4%)	5,949 (32.8%)	9 (17.6%)	32 (34.8%)	81 (33.1%)
していない	4,619 (22.5%)	5,148 (24.1%)	5,024 (27.7%)	9 (17.6%)	21 (22.8%)	69 (28.2%)
わからない	9,353 (45.6%)	8,450 (39.5%)	7,156 (39.5%)	33 (64.7%)	39 (42.4%)	95 (38.8%)

※数値は回答件数。()は、各学校種の携帯・スマホの所持児童生徒(小学校1・2年生を除く)に対する割合。

・フィルタリングを「している」は、約3割で、トラブルに遭うリスクが高く、防犯意識が低いと考えられる。

・フィルタリングを行う保護者への啓発も防犯やトラブル回避のために必要である。

3 家で携帯電話やスマホの使い方についてルールがあるか（小学校1・2年生は調査対象外）

学校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
				小学部	中学部	高等部
ある	22,287 (63.3%)	12,177 (49.4%)	4,914 (26.9%)	130 (43.5%)	155 (46.0%)	159 (36.4%)
ない	12,897 (36.7%)	12,497 (50.6%)	13,359 (73.1%)	169 (56.5%)	182 (54.0%)	278 (63.6%)

※数値は回答件数。()は、各学校種の全児童生徒(小学校1・2年生を除く)に対する割合。

・小学校では約6割が「ある」と回答しているが、中学校・高等学校と学校種が上がるにつれてその割合は低下する。

・令和3年度から経年変化はほとんどなく、家庭でのルール作りは進んでいない状況が考えられる。

<携帯電話・スマホの家庭でのルール作りの令和3年度からの比較>

小学校 令和3年度：62.7% 令和4年度：60.6% 令和5年度：60.1% 令和6年度：60.8% 令和7年度：63.3%

中学校 令和3年度：51.5% 令和4年度：49.0% 令和5年度：49.5% 令和6年度：50.9% 令和7年度：49.4%

高等学校 令和3年度：26.3% 令和4年度：26.5% 令和5年度：26.4% 令和6年度：27.1% 令和7年度：26.9%

4 平日一日の使用時間（学習利用時間は除く 小学校1・2年生は調査対象外）

学校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
				小学部	中学部	高等部
使用しない	2,678 (7.6%)	664 (2.7%)	134 (0.7%)	72 (24.1%)	84 (24.9%)	93 (21.3%)
30分以内	4,330 (12.3%)	1,065 (4.3%)	946 (5.2%)	56 (18.7%)	28 (8.3%)	27 (6.2%)
30分～1時間	7,754 (22.0%)	3,113 (12.6%)	2,132 (11.7%)	59 (19.7%)	72 (21.4%)	68 (15.6%)
1時間～2時間	8,078 (23.0%)	6,633 (26.9%)	4,499 (24.6%)	64 (21.4%)	65 (19.3%)	88 (20.1%)
2時間～3時間	5,042 (14.3%)	5,874 (23.8%)	4,195 (23.0%)	23 (7.7%)	47 (13.9%)	44 (10.1%)
3時間～4時間	3,106 (8.8%)	3,477 (14.1%)	2,912 (15.9%)	11 (3.7%)	19 (5.6%)	33 (7.6%)
4時間～5時間	1,912 (5.4%)	1,808 (7.3%)	1,636 (9.0%)	8 (2.7%)	11 (3.3%)	28 (6.4%)
5時間以上	2,284 (6.5%)	2,040 (8.3%)	1,819 (10.0%)	6 (2.0%)	11 (3.3%)	56 (12.8%)

※数値は回答件数。()は、「使用時間」全体に対する割合。

・小学校の半数は1時間以上、中学校・高等学校の半数は2時間以上使用している。

・小学校では、2時間以上の使用者の割合が、昨年度調査よりも増加している。(28.6%→35.1%)

・中学校では、3時間以上の使用者の割合が、昨年度よりも増加している。(27.3%→29.7%)

・高等学校では、3時間以上の使用者の割合が、昨年度より増加している。(30.5%→34.8%)

・1割程度は、一日に5時間以上使用している。

・長時間の使用は、生活リズムの不調や学習への影響などが懸念されるので、適切な使用時間について考えていく必要がある。

5 休日一日の使用時間（学習利用時間は除く 小学校1・2年生は調査対象外）

学校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
				小学部	中学部	高等部
使用しない	1,638 (4.7%)	432 (1.8%)	200 (1.1%)	64 (21.4%)	61 (18.1%)	85 (19.5%)
30分以内	2,949 (8.4%)	567 (2.3%)	350 (1.9%)	40 (13.4%)	16 (4.7%)	22 (5.0%)
30分～1時間	5,328 (15.1%)	1,221 (4.9%)	749 (4.1%)	50 (16.7%)	49 (14.5%)	43 (9.8%)
1時間～2時間	6,591 (18.7%)	3,007 (12.2%)	1,885 (10.3%)	51 (17.1%)	57 (16.9%)	51 (11.7%)
2時間～3時間	5,760 (16.4%)	4,821 (19.5%)	3,130 (17.1%)	36 (12.0%)	45 (13.4%)	45 (10.3%)
3時間～4時間	4,262 (12.1%)	4,956 (20.1%)	3,790 (20.7%)	19 (6.4%)	31 (9.2%)	43 (9.8%)
4時間～5時間	3,214 (9.1%)	3,580 (14.5%)	2,981 (16.3%)	14 (4.7%)	26 (7.7%)	36 (8.2%)
5時間以上	5,442 (15.5%)	6,090 (24.7%)	5,188 (28.4%)	25 (8.4%)	52 (15.4%)	112 (25.6%)

※数値は回答件数。()は、「使用時間」全体に対する割合。

・小学校の半数は2時間以上、中学校・高等学校の半数は3時間以上使用している。

・小学校では15.5%、中学校では24.7%、高等学校では28.4%が、一日に5時間以上使用している。

6 SNSの利用状況

学校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
				小学部	中学部	高等部
利用している	31,111 (60.3%)	22,198 (90.0%)	17,647 (96.6%)	167 (35.0%)	150 (44.5%)	226 (51.7%)
利用していない	20,459 (39.7%)	2,476 (10.0%)	626 (3.4%)	310 (65.0%)	187 (55.5%)	211 (48.3%)

※数値は回答件数。()は、各学校種的全児童生徒に対する割合。

- ・小学校で約6割、中学校・高等学校では9割以上がSNSを利用している。
- ・特別支援学校の、小学部では約3割、中学部では約4割、高等部では約5割がSNSを利用している。

7 利用しているSNSの種類(小学校1・2年生は調査対象外) <複数回答>

学校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
				小学部	中学部	高等部
LINE	13,010 (57.4%)	19,837 (89.4%)	17,351 (98.3%)	13 (14.6%)	39 (26.0%)	164 (72.6%)
X	1,291 (5.7%)	5,488 (24.7%)	8,084 (45.8%)	2 (2.2%)	10 (6.7%)	61 (27.0%)
Instagram	3,606 (15.9%)	14,163 (63.8%)	15,001 (85.0%)	6 (6.7%)	14 (9.3%)	104 (46.0%)
YouTube	19,238 (84.9%)	19,570 (88.2%)	16,056 (91.0%)	83 (93.3%)	139 (92.7%)	192 (85.0%)
TikTok	9,418 (41.5%)	14,923 (67.2%)	11,034 (62.5%)	12 (13.5%)	28 (18.7%)	113 (50.0%)
Facebook	1,138 (5.0%)	1,054 (4.7%)	1,662 (9.4%)	4 (4.5%)	7 (4.7%)	16 (7.1%)
その他	1,440 (6.4%)	983 (4.4%)	423 (2.4%)	2 (2.2%)	7 (4.7%)	16 (7.1%)

※数値は回答件数。()は、SNSを利用している全児童生徒(小学校1・2年生を除く)に対する割合。

その他の利用しているSNSの種類の内容

小学校	<p>【コミュニケーション系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスコード ・スカイフォン ・スレヅ ・シグナル ・パラレル ・プラスメッセージ <p>【動画・配信系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビーリアル ・ツイキャス ・ネットフリックス ・スポティファイ ・レミノ ・スノー ・イリアム <p>【創作・学習系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクラッチ ・アイビスペイント <p>【ゲーム系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロブロックス ・ピグパーティ ・荒野行動 ・フォートナイト ・イーフトボール ・ウィープレイ ・ポケコロ <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポケカラ
中学校	<p>【コミュニケーション系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レモンエイト ・ディスコード ・フー ・スレヅ ・ツイキャス ・パラレル ・スナップチャット ・ディスコ ・レモ ・グラヴィティ <p>【動画・配信系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビーリアル ・ツイッチ ・ミラティブ ・ニコニコ動画 ・ネットフリックス <p>【創作・学習系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピクシブ ・ブリ小説 ・アイビスペイント <p>【ゲーム系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロブロックス ・ウィープレイ ・イーフトボール
高等学校	<p>【コミュニケーション系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスコード ・フー ・スレヅ ・バンド ・カカオトーク ・ブルスカイ ・ウィバース ・レディット ・ハロートーク ・グラヴィティ <p>【動画・配信系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビーリアル ・ツイッチ ・ニコニコ動画 <p>【創作・配信系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピクシブ ・ブリ小説 ・スタディープラス <p>【ゲーム系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピグパーティ ・みるせん ・ノラ ・VRチャット ・ホーヨーラボ <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タッブル ・ティンダー
特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスコード ・シグナル ・ゲーム

- ・LINEの利用が多く、小学校で約5割、中学校で約9割、高等学校ではほとんどの生徒が利用している。
- ・Instagramは、中高生の利用が多く、中学生で約6割が、高等学校で約8割が利用している。
- ・匿名性が高いSNSやメッセージが自動で消えるSNSの利用もある。
- ・知らない人とも交流できるSNSもあり、それが魅力である反面、そのことが思わぬ危険に繋がる可能性があり、SNSを安全に活用するためには、利用者自身が情報モラルと情報リテラシーをしっかりと身につける必要がある。

8 インターネット・SNSでのトラブルの有無（小学校1・2年生は調査対象外）

学校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
				小学部	中学部	高等部
有り	2,453 (7.0%)	1,993 (8.1%)	960 (5.3%)	4 (1.4%)	5 (1.5%)	29 (6.6%)
無し	32,731 (93.0%)	22,681 (91.9%)	17,313 (94.7%)	295 (98.7%)	332 (98.5%)	408 (93.4%)

※数値は回答件数。()は、各学校種の全児童生徒(小学校1・2年生を除く)に対する割合。

インターネット・SNSでのトラブルの内容（小学校1・2年生は調査対象外） <複数回答>

学校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
				小学部	中学部	高等部
該当なし (トラブル無し)	32,731 (93.0%)	22,681 (91.9%)	17,313 (94.7%)	295 (98.7%)	332 (98.5%)	408 (93.4%)
悪口やいやなこと を書かれた	① 746 (2.1%)	② 400 (1.6%)	② 154 (0.8%)	① 2 (0.7%)	① 4 (1.2%)	② 8 (1.8%)
無断で写真を載 せられた	180 (0.5%)	③ 277 (1.1%)	③ 139 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.9%)
仲間はずれ	③ 258 (0.7%)	96 (0.4%)	44 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	③ 5 (1.1%)
架空請求・ 高額請求	170 (0.5%)	100 (0.4%)	79 (0.4%)	② 1 (0.3%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)
個人情報	66 (0.2%)	72 (0.3%)	33 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
知らない人 からの誘い	② 439 (1.2%)	① 906 (3.7%)	① 493 (2.7%)	① 2 (0.7%)	0 (0.0%)	① 11 (2.5%)
違法薬物の誘い	38 (0.1%)	40 (0.2%)	19 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)
闇バイトの誘い	80 (0.2%)	101 (0.4%)	101 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.5%)
その他	323 (0.9%)	137 (0.6%)	48 (0.3%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)	2 (0.5%)

※数値は回答件数。()は、各学校種の全児童生徒(小学校1・2年生を除く)に対する割合。

その他の内容

小学校	・不審なメール(ウィルスメール含む) ・非通知着信 ・執拗なメッセージ送信要求 ・昼夜問わずスタンプ連打 ・チェーンメール(メール)がたくさん来る ・殺害予告 ・友達からの不適切なビデオ通話 ・有料サイトの広告 (詐欺広告) ・サイト誘導(不審なリンク)
中学校	・友人がアカウントを乗っ取られた ・なりすまし ・グループチャットで強制退会させられた ・「顔を見せて」と 言われた ・無言(非通知・詐欺)電話 ・性的な画像が送られてきた ・LINEがうるさい ・友達に乗っ取られた アカウントから自分の卒業アルバムの写真を加工してAIのフェイクダンスを作り送られた ・性に関する嫌な言動 ・ 嫌な物を見た ・アダルトサイトに飛ばされた ・YouTubeに大人な内容の広告が流れる ・友人とのトラブル ・ ゲームで知らない人にリスポンキルされて煽られた ・違うと否定しているのに、何度も同じことを書いてきて嫌な 気持ちになった ・自分の知らない間に名前も知らない大人たちのグループラインに入っていた
高等学校	・不正アクセス ・アカウント晒し ・なりすまし ・プライベートゾーンを求めるメッセージが来た ・関西からバ イトの案内が来た ・自分がフォローしている公式アカウントの偽アカウントからフォローが来たり、変なアカウント からフォローリクエストが来る ・詐欺電話 ・詐欺(偽)広告 ・有名人のなりすましからDMが届き、株をすすめ られた ・乗っ取られた友達のアカウントからメッセージ(金銭要求等)が届いた ・使い捨てアカウントでずっと フォローされる ・虚偽の通報 ・いやな情報が入ってくる ・親からスマホを取りあげられ、友人に勝手に連絡を取 られた ・個人情報流出誘導 ・マルウェア攻撃 ・Dos攻撃 ・友達にBanされた ・PayPayあげるからDM(ダイ レクトメッセージ)してと言われた
特別支援学校	・YouTubeにアップロードされた

- ・「知らない人からの誘い」、「悪口やいやなことを書かれた」、「無断で写真を載せられた」、「仲間はずれ」が多い。
- ・小学校では、「悪口やいやなことを書かれた」が中心。
- ・中学校からは、「知らない人からの誘い」、「無断で写真を載せられた」が増える。
- ・高等学校では「闇バイトの誘い」が相対的に増える。「違法薬物の誘い」の回答もある。

9 8のトラブルの相談の有無（小学校1・2年生は調査対象外）

学校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
				小学部	中学部	高等部
相談した	1,398 (57.0%)	860 (43.2%)	385 (40.1%)	1 (25.0%)	2 (40.0%)	15 (51.7%)
相談していない	1,055 (43.0%)	1,133 (56.8%)	575 (59.9%)	3 (75.0%)	3 (60.0%)	14 (48.3%)

※数値は回答件数。()は、トラブルを経験した児童生徒（小学校1・2年生を除く）に対する割合。

- ・小学校・中学校・高等学校では、学校種が上がるにつれ、相談しなくなる傾向がある。
- ・特別支援学校では、学校種が上がるにつれ、相談する傾向がある。
- ・相談できないことで、トラブルが更に大きくなることが懸念される。
- ・トラブルが起こったら、誰にどう相談すればよいかについて、児童生徒・保護者への周知が必要である。

10 8のトラブルの相談相手（小学校1・2年生は調査対象外） <複数回答>

学校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
				小学部	中学部	高等部
学校の先生	149 (10.7%)	147 (17.1%)	67 (17.4%)	1 (100.0%)	1 (50.0%)	3 (20.0%)
家族	756 (54.1%)	450 (52.3%)	218 (56.6%)	1 (100.0%)	2 (100.0%)	8 (53.3%)
友人	417 (29.8%)	507 (59.0%)	252 (65.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (46.7%)
スクールカウンセラー	35 (2.5%)	17 (2.0%)	14 (3.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
相談窓口	20 (1.4%)	7 (0.8%)	9 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	44 (3.1%)	17 (2.0%)	10 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (13.3%)

※数値は回答件数。()は、トラブルを相談した児童生徒（小学校1・2年生を除く）に対する割合

その他の内容

小学校	・ネット ・親族 ・ネットの友達 ・学童の先生 ・公式サイト ・学校に非行防止教室で講師として来校した補導職員(警察)
中学校	・自分で対処 ・恋人 ・ネットの友達 ・先輩 ・携帯電話の会社 ・無視
高等学校	・ネットで知り合った人 ・警察 ・彼女
特別支援学校	・いとこ

家族、友人に相談する傾向があり、家庭に向けた啓発・情報モラル教育が重要。